

厚生労働大臣 殿

鳥取大学医学部附属病院長
豊島良

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	44 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種		常 勤	非常勤	合 計	職 種	員数	職 種		員数
医 師		295	36.1	331.1	看護業務補助	40	診療X線技士		0
歯科医師		19	0.6	19.6	理学療法士	9	臨床	臨床検査技師	37
薬 剤 師		27	0	27	作業療法士	4		衛生検査技師	0
保 健 師		0	0	0	視能訓練士	2	検 査	そ の 他	0
助 産 師		24	0	24	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師		0
看 護 師		482	23.0	505.0	臨床工学技士	6	医療社会事業従事者		5
准看護師		2	0	2	栄 養 士	0	その他の技術員		9
歯科衛生士		2	0	2	歯科技工士	2	事 務 職 員		133
管理栄養士		5	0	5	診療放射線技師	25	そ の 他 の 職 員		12

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	575.2人	13.2人	588.4人
1日当たり平均外来患者数	1,159.9人	49.1人	1,209.0人
1日当たり平均調剤数	657.6 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
・SDI法による抗ガン剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコーピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シヤント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRAN診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人

高度先進医療の種類 (医科)	承認	取扱患者数
・重症BCG副反応例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験 (CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節移転に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 (CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞 (CD34陽性細胞に限る。) による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
・副甲状腺内活性化型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類 (歯科)	承認	取扱患者数
・インプラント義歯	有・無	人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

- (注) 1 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

単位 人

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	18	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	14
・多発性硬化症	21	・ウェゲナー肉芽腫症	3
・重症筋無力症	40	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	30
・全身性エリテマトーデス	71	・多系統萎縮症	17
・スモン	2	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0
・再生不良性貧血	20	・膿疱性乾癬	1
・サルコイドーシス	39	・広範脊柱管狭窄症	8
・筋萎縮性側索硬化症	17	・原発性胆汁性肝硬変	17
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	54	・重症急性膵炎	8
・特発性血小板減少性紫斑病	18	・特発性大腿骨頭壊死症	9
・結節性動脈周囲炎	11	・混合性結合組織病	18
・潰瘍性大腸炎	31	・原発性免疫不全症候群	1
・大動脈炎症候群	10	・特発性間質性肺炎	15
・ビュルガー病	9	・網膜色素変性症	10
・天疱瘡	5	・プリオン病	1
・脊髄小脳変性症	20	・原発性肺高血圧症	1
・クローン病	14	・神経線維腫症	8
・難治性の肝炎のうちの劇症肝炎	2	・亜急性硬化性全脳炎	0
・悪性関節リウマチ	0	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	2
・パーキンソン病関連疾患	127	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	4
・アミロイドーシス	2	・ライソゾーム病（ファブリー「Fabry」病）含む	1
・後縦靭帯骨化症	35	・副腎白質ジストロフィー	3
・ハンチントン病	2		

（注）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	毎月1～2回開催（不定期）
剖検の状況	剖検症例数 36 例 剖検率 9.8 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部局	金額(千円)	補助元又委託先
眼ヘルペス感染症におけるウイルス増殖・免疫反応に関する分子機能の解明	井上 幸次	視覚病態学	2,100	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
小児期神経変性疾患の新しい治療法の確立	大野 耕策	脳神経小児科	4,600	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
熱ショック蛋白の細胞保護効果に着目した急性臓器機能障害の予防に関する研究	南 ゆかり	高次集中治療部	2,300	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
子宮内膜症の増殖・進展機構の解明と新たな分子標的治療の開発	寺川 直樹	生殖機能医学	7,600	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
血清中mRNAを用いた新規高感度病態診断法のプライマリーケアへの導入	三浦 典正	薬物治療学	10,800	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
漢方薬作用機序の細胞薬理学的検討	長谷川 純一	薬物治療学	900	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
神経回路網の発達に関する研究	前垣 義弘	脳神経小児科	400	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
マラソン型重量呼吸式人工呼吸法の肺酸素化効率と肺保護効果の検討	岡崎 直人	麻酔・集中治療医学	500	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
生物学的特性に基づいた上皮性卵巣癌に対するアポトーシス関連遺伝子治療個別化の試み	紀川 純三	生殖機能医学	700	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
眼表面アレルギー治療を目標とした肥満細胞の分化・活性化機構の解明	宮崎 大	眼科	600	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
精神障害ケアマネジメント従事者のための教育資料の開発研究	植田 俊幸	精神科神経科	1,200	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
C型慢性肝炎での肝線維化進行と宿主の機能的遺伝子多型との関連	村脇 義和	機能病態内科学	1,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
睡眠時無呼吸症候群における体内時計障害の関与・時計遺伝子群の変調解析	鯨岡 直人	分子制御内科学	800	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
病巣遠隔部の二次変性:3TesT MRIとSPECTによる神経細胞密度の定量的解析	小川 敏英	医用放射線学	900	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
血中に存在する微量な癌細胞が担癌生体におよぼす影響	池口 正英	病態制御外科学	1,300	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
関節リウマチに合併する骨粗鬆症の予防・治療法の確立	豊島 良太	運動器医学	1,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
生物学的特性に基づくE1A遺伝子導入を用いた上皮性卵巣癌抗癌剤耐性克服の試み	板持 広明	産科婦人科	700	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
熱ショック蛋白による成熟チャンネル増加機序の解明とその慢性心房細動治療への応用	久留 一郎	再生医療学	2,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
肺癌検診における新規腫瘍マーカー・分子マーカーの有用性研究	清水 英治	分子制御内科学	1,500	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金

小計19

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部局	金額(千円)	補助元又委託先
A β 新規関連タンパク β -A1cのアルツハイマー病診断マーカーとしての臨床応用	浦上 克哉	生体制御学	1,300	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
培養神経細胞とアストロサイトによる家族性片頭痛の疾患モデル構築と分子機構の解明	竹島 多賀夫	脳神経内科	2,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
IGF-I不応症の新展開:変異IGF受容体遺伝子の機能解析と表現型の検討	神崎 晋	周産期・小児医学	2,200	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
PICK1遺伝子と統合失調症との関連	前田 和久	精神科神経科	2,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
背外側前頭前皮質抑制性神経系に対するドーパミンの調節効果	兼子 幸一	精神行動医学	2,100	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
白血病細胞死における膜マイクロドメインを介したアポトーシス誘導脂質セラミドの役割	岡崎 俊朗	臨床検査医学	1,100	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
血管塞栓用器具(吸水性コイル)の開発と実験的検討	神納 敏夫	医用放射線学	800	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
ミトコンドリアエネルギー代謝抑制によるヒト臍帯血幹細胞より肝細胞への分化促進	汐田 剛史	遺伝子医療学	500	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
血管内皮前駆細胞培養シートによるハイブリット型血管網付き人工神経の開発	中山 敏	形成外科	1,400	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
reperfusion injuryによる心臓・肺障害の機序の解明と治療法の開発	荻野 和秀	卒後臨床研修センター	1,600	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
ケモカイン抑制による角膜移植後拒絶反応抑制法の開発	石倉 涼子	眼科	1,900	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
ハンチントン病の分子病態におけるP62(A170)の関与と治療への応用	中曾 一裕	脳神経内科部門	5,700	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
脳組織におけるジストログリカンの糖鎖付加の細胞群による差異と異常の機能的意義	斎藤 義朗	脳神経小児科	4,600	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
パラメトリック解析法による学習障害児の認知障害メカニズムの機能的MRI研究	関 あゆみ	脳神経小児科	500	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
B型肝炎ウイルス(HBV)S領域変異株に注目したHBVワクチン早期投与の評価	村上 潤	小児科	800	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
消化性潰瘍患者における背景胃粘膜とDNAメチル化との関連についての検討	原田 賢一	第二内科	1,000	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
ヒト肺線癌におけるHRKの発現とメチル化の検討-生命予後との関連	橋本 潔	第三内科	500	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
ケン体の神経保護効果とドーパミン神経幹細胞における増殖・分化シグナルへの関与	今村 恵子	脳神経内科	700	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
FALS及びモデル動物における遺伝子発現の網羅的解析	安井 建一	脳神経内科	1,300	補 文部科学省 委 科学研究費補助金

小計19

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部局	金額(千円)	補助元又委託先
家族性筋萎縮性側索硬化症モデルマウスに対する神経幹細胞治療	渡邊 保裕	脳神経内科	900	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
消化器癌の抗癌剤耐性発現における薬剤細胞内輸送、アポトーシス関連因子の役割	堅野 国幸	第一外科	1,700	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
MICAによる癌免疫逃避機構の解明と消化器癌ワクチン療法の効果増強	齋藤 博昭	病態制御外科学	1,300	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
正常骨髄幹細胞が癌の転移形成に果たす役割に関する基礎研究	土井 理恵子	歯科口腔外科	1,400	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
口腔粘膜上皮の癌化の各段階におけるTGF-βシグナル伝達系解析	柴田 昌美	歯科口腔外科	700	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
気道リモデリングにおける間葉系細胞の役割について－不死化間葉系細胞の確立	山崎 章	第三内科	1,500	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
発達期ヒト脳におけるDセリンとNMDA受容体の変化とてんかん原性獲得に関する研究	杉浦 千登勢	脳神経小児科	2,300	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
胎内発育と成長におけるIGF受容体の役割：子宮内発育不全性低身長 の病態解明	鞍嶋 有紀	周産期・小児医学	1,800	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
耳下腺のMRマイクロイメージング：3T MRIと表面コイルを用いた検討	藤井 進也	材料部	2,300	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
胎児母体境界における細菌侵入防御メカニズムの解明	光成 匡博	総合周産期母子医療センター	1,400	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
アセチルコリンは咽喉頭における求心性の神経伝達物質か？	河本 勝之	耳鼻咽喉科	3,200	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
前庭障害者における体循環および自律神経への影響についての検討	中村 陽祐	耳鼻咽喉科	2,800	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
加齢黄斑変性マウスモデルを用いた病態メカニズムの解明と治療への応用	馬場 高志	視覚病態学	1,800	補 文部科学省 委 科学研究費補助金

合計51

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、該当医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiac Fail 2006; 12: p720-25.	Catabolism of adenine nucleotides favors adenosine production following exercise in patients with chronic heart failure.	Kinugawa T 他	第一内科
Heart Vessels 2006; 21: p258-62.	Autoperipheral blood mononuclear cell transplantation improved giant ulcers due to chronic arteriosclerosis obliterans.	Sugihara S 他	第一内科
Hypertens Res 2006; 29: p915-21.	Allopurinol reduces neointimal hyperplasia in the carotid artery ligation model in spontaneously hypertensive rats.	Yamamoto Y 他	第一内科
Biochem Biophys Res Commun 2006; 351: p126-32.	Delayed onset of beating and decreased expression of T-type Ca ²⁺ channel in mouse ES cell-derived cardiocytes carrying human	Mizuta E 他	第一内科
Circ J 2007; 71: p354-6.	Plasma Levels of Uridine Correlate with Blood Pressure and Indicators of Myogenic Purine Degradation and Insulin Resistance in Hypertensive	Hamada T 他	第一内科
Heart Rhythm 2006; 3: p1481-5.	Extension of the inferior vena cava into the posteroinferior right atrium.	Igawa O 他	第一内科
Europace 2007; 9: p74-5.	The image of the brachiocephalic vein perforation in three-dimensional computed tomography.	Igawa O 他	第一内科
J Cardiovasc Electrophysiol 2006; 17: p690.	Giant aneurysm of the coronary sinus.	Igawa O 他	第一内科
臨床心臓電気整理 2006; 28: p151-162.	Septal isthmus における伝導途絶の成立に伴い頻拍回路の変化を認めた非通常型房室結核回帰性頻拍の一例.	小倉一能 他	第一内科
心臓 2006; 38(Suppl.4): p166-170.	不整脈の病理・解剖学的背景について.	井川 修	第一内科
心臓 2007 (in press).	冠状静脈洞近位部が左房macro-reentrant tachycardiaの回路の一部であった一例.	加藤 克 他	第一内科
米子医学雑誌 2006; 57: p6-16.	マウス血管新生における遺伝子治療と細胞治療の比較検討.	松浦 隆 他	第一内科
米子医学雑誌 2006; 57: p190-199.	骨髄単核球細胞の血管新生能に及ぼす加齢の影響.	杉原志伸 他	第一内科
米子医学雑誌2006; 57: p29-38.	細胞質ホスホリパーゼA2 α 欠損による動脈硬化の抑制.	井川 剛 他	第一内科
米子医学雑誌 2006; 57: p17-26.	血球細胞質ホスホリパーゼA2 α 欠損による動脈硬化の抑制効果.	安東史博 他	第一内科
セラピューティックリサーチ 2006; 27: p243-7.	血清尿酸値別にみたロサルタンと低用量ヒドロクロロチアジド併用が高血圧患者の尿酸代謝に及ぼす効果.	浜田紀宏 他	第一内科
Prog Med 2006; 26: p469-473.	アンジオテンシンII受容体拮抗薬と低用量ヒドロクロロチアジド併用が高血圧患者の尿酸代謝に及ぼす効果:ロサルタンとカンデサルタンとの比較.	浜田紀宏 他	第一内科
診療と新薬 2006; 43: p382-386.	N型カルシウム拮抗薬、シルニジビンの筋原性高尿酸血症抑制作用.	浜田紀宏 他	第一内科
血圧 2006; 13: p563-567.	高血圧患者に対する降圧療法が血圧変動に及ぼす影響:家庭血圧を用いたオルメサルタンとアムロジピントの比較検討.	浜田紀宏 他	第一内科
Prog Med 2007; 27: p353-357.	ロサルタン、テルミサルタンと低用量降圧利尿薬との併用療法が高血圧患者の血圧、尿酸、脂質代謝に及ぼす影響.	浜田紀宏 他	第一内科
Yonago Acta Medica 49: 1-7, 2006	HRA1 variable number of tandem repeats polymorphism in Japanese patients with colorectal adenoma and cancer	Miura M 他	第二内科
Yonago Acta Medica 49: 29-37, 2006	Effects of endothelin-1 and angiotensin-II on extracellular matrix metabolism in a rat mesangial cell line, CRL-2573	Yamamoto S 他	第二内科
J Gastroenterol 41: 166-176, 2006	Gefitinib and the modulation of the signaling pathways downstream of epidermal growth factor receptor in human liver cancer cells	Okano J. 他	第二内科
Int J Oncol 29: 1501-1508, 2006	Apoptosis of liver cancer cells by vitamin K2 and enhancement by MEK inhibition	Matsumoto K 他	第二内科
J Gastroenterol 41: 996-1004, 2006	Preventive and therapeutic effects of angiotensin II type I receptor blocker on hepatic fibrosis induced by bile duct ligation in rats	Ueki M 他	第二内科
Abdom Imaging (online)	Sonographic subcutaneous and visceral fat indices represent the distribution of body fat	Koda M 他	第二内科
Comparative Hepatology (online)	Endothelin-1 enhances fibrogenic gene expression, but does not promote DNA synthesis or apoptosis in hepatic stellate cells	Koda M 他	第二内科
新薬と臨牀 55: 193-202, 2006	山陰地区におけるインターフェロン α 2b/リパビリン併用療法の治療成績	岡野淳一 他	第二内科
疾病構造の地域特性調査対策専門委員会報告 母子保健対策専門委員会報告 第	C型慢性肝炎の肝線維化ステージに関する調査	村脇義和 他	第二内科
薬理と治療 34(suppl): S171-174, 2006	C型慢性肝炎患者での肝線維化進展とマトリックス分解酵素およびインターロイキン-1 β の遺伝子多型との関連	万代真理 他	第二内科
薬理と治療 34(suppl): S165-169, 2006	B型肝炎細胞癌治療後のラムピジン療法の有用性	孝田雅彦 他	第二内科
薬理と治療 34(suppl): S197-201, 2006	急性間欠性ポルフィリン症における遺伝子解析	前田直人 他	第二内科
日本医療マネジメント学会雑誌 17:299-300,2006	DPC適合型クリティカルパスは現時点でどうあるべきか	中村廣繁	胸部外科
胸部外科 59:1115-1118,2006	一肺がんに対する肺葉切除術を例にしてー 周囲臓器の合併切除を要した巨大前縦隔成熟型良性奇形腫の1例	三和 健	胸部外科
日胸 66:149-153, 2007	胸腔鏡下切除を施行した犬飼青脈のない肺大系状虫腫の1例	三和 健	胸部外科
胸部外科 59:597-601,2006	原発不明縦隔リンパ節腫瘍の1例	足立洋心	胸部外科
Pathology International 57:171-177, 2007	Lymphatic vessel density in pulmonary adenocarcinoma immunohistochemically evaluated with anti-podoplanin or anti-D2 antibody is correlated with lymphatic invasion or lymph node	Adachi Y	胸部外科
Pathology International:56:453-456,2006	Benign clear(sugar)cell tumor of lung with CD1a expression	Adachi Y	胸部外科
臨床放射線 51:982-986,2006	肺放線菌症の3例	杉浦公彦	胸部外科
Surg Today 37:141-144, 2007	Successful video-assisted thoracic surgery for pulmonary endometriosis:Report of a case.	Haruki T	胸部外科
臨床放射線 52:327-332, 2007	肺原発悪性黒色腫の1例	石橋 愛	胸部外科
Cancer Sci 64:1366-1373,2006	Clinical usefulness of serum telomerase reverse transcriptase(hTert)mRNA and epidermal growth factor receptor(EGFR)mRNA as a novel tumor marker for lung cancer	Miura N	胸部外科
Brain Research, 2006年10月	Neural substrates of sarcasm: a functional magnetic-resonance imaging study.	内山仁志	脳神経小児科
日本小児科学会雑誌, 2006年11月	けいれん重積で発症する急性脳症の早期診断における臨床症状と検査所見	前垣義弘	脳神経小児科
Brain Development, 2006年5月	Arthrogryposis multiplex congenita with callosal agenesis and olivary-dentate dysplasia.	斎藤義朗	脳神経小児科
脳と発達, 2006年11月	胃食道逆流を有し, 披裂部浮腫による呼吸障害をきたした重症心身障害児の2例	近藤章子	脳神経小児科
日本放射線技術学会雑誌62(2):297-304, 2006	超高磁場3TMRにおける3D-FSPGRを用いたT1強調画像の最適撮像パラメータの検討	山下栄二郎 他	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
IVR会誌 21:16-17, 2006	動脈損傷時止血用ステント (Velour stent) の開発第2報	杉浦公彦 他	放射線科
J Orthop Sci. 11(2): 127-134, 2006	Report on the Japanese orthopaedic association's 3-year project observing hip fracture at fixed-point hospitals.	Sakamoto K 他	リハビリテーション部
Osteoporos Int, 17(10): 1532-1538, 2006	Shiraki M, Hagino H, Jinuma H, Nakamura T: Daily nasal spray of hPTH (1-34) for 3 months increases bone mass in osteoporotic subjects: a	Matsumoto T 他	リハビリテーション部
J Orthop Sci, 11(5): 467-472, 2006	Committee on Osteoporosis of The Japanese Orthopaedic Association: Effects of unipedal standing balance exercise on the prevention of falls and hip fracture among clinically defined high-risk elderly individuals: a randomized controlled trial	Sakamoto K 他	リハビリテーション部
日本婦人科腫瘍学会雑誌 25:39-43, 2007	卵巣明細胞腺癌におけるGalectin-3発現とCDP感受性	大石徹郎	産科婦人科
Gynecol. Oncol. 101:234-237, 2006. 2	Ovarian metastasis in carcinoma of the uterine cervix	M. Shimada	産科婦人科
Gynecol. Oncol. 101:495-498, 2006. 3	Feasibility study comparing docetaxel-cisplatin versus docetaxel-carboplatin as first-line chemotherapy for ovarian cancer	Y. Minagawa	産科婦人科
J. Perinat. Med. 34:398-403, 2006. 5	Fetal behavior analyzed by ultrasonic actocardiogram in cases with central nervous system lesions	K. Maeda	産科婦人科
Mol. Cancer Ther. 6:227-235, 2007. 1	Adenovirus type 5 E1A gene therapy for ovarian clear cell carcinoma: a potential treatment strategy	H. Itamochi	産科婦人科
Cancer Science. 年月日:2006年12月.	Clinical usefulness of serum telomerase reverse transcriptase (hTERT) mRNA and epidermal growth factor receptor (EGFR) mRNA as a novel tumor marker for lung cancer.	三浦典正	総合薬物治療科
Oncology Reports. 年月日:2007年3月.	A diagnostic evaluation of serum human telomerase reverse transcriptase mRNA as a novel tumor marker for gynecologic malignancies.	三浦典正	総合薬物治療科
Neurol Res 28:196-199, 2006	Relationship of hypotension and cerebral vasospasm in patients with aneurysmal subarachnoid hemorrhage.	Tabuchi S 他	脳神経外科
Neurol Res 29:36-42, 2007	Establishment of experimental glioma models at the intrinsic brainstem region of the rats.	Sho A 他	脳神経外科
鳥取医学雑誌 34巻 第2号 58-63, 2006	当科における脳下垂体腫瘍の治療—現状と将来展望	黒崎雅道 他	脳神経外科
CI研究 28 59-64, 2006	3T MRIを用いた下垂体腺腫の画像診断	黒崎雅道 他	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) 46:589-593, 2006	Cerebral venous sinus thrombosis associated with iron deficiency - Two case reports ?	Kinoshita Y 他	脳神経外科
CI研究 28 149-154, 2006	視神経路に浮腫を生じたラケのう胞症例について	黒崎雅道 他	脳神経外科
西日本泌尿器科 2006年4月	妊娠中に留置した尿管ステントに結石形成した1例	引田克弥	泌尿器科
Asian J Androl 2006年11月	Genetic and epigenetic risks of intracytoplasmic sperm injection method	Miyagawa I. 他	泌尿器科
消化器外科29(1):1-11, 2006	胃手術後の空腸バウチを用いた再建術の工夫	池口正英	第一外科
OPE NURSING“実践 消化器外科手術マニュアル”春季増刊80-87, 2006”	胃全摘術・基礎知識	池口正英	第一外科
Biochem Biophys Res Commun340(3):887-893, 2006	Association of fragile site-associated(FSA)gene expression with epithelial differentiation and tumor development.	Tatebe S.	第一外科
日本産科雑誌(増刊1):41-43, 2006	腺癌、胆道癌の診断と治療-最新の研究動向-	尾崎(大上)佳三	第一外科
臨床外科61(3):385-388, 2006	特徴的な画像所見を示した胆嚢捻転症の1例	尾崎知博	第一外科
Int J Cancer118:1909-1914, 2006	Interleukin-10 expression significantly correlates with minor CD8+ T-cell infiltration and high microvessel density in patients with gastric	Sakamoto T.	第一外科
W Waves12(1):42-43, 2006	消化器外科教室における研究	池口正英	第一外科
Oncology70:126-133, 2006	Expression of Polo-Like Kinase1(PLK1)Protein Predicts the Survival of Patients with Gastric Carcinoma.	Kanaji S.	第一外科
ANZ J Surg76:458-461, 2006	Effect of age on prognosis in patients with gastric cancer.	Saito H.	第一外科
Hematol Oncol Clin North Am20(3):689-710, 2006	Dendritic cell-based vaccination against cancer.	Saito H.	第一外科
Yonago Acta Medica49:63-69, 2006	Scirrhous Gastric Cancer : Therapeutic Strategy	Ikeguchi M.	第一外科
TUMOR192(2):130-133, 2006	Tumor Cyclooxygenase-2 Gene Suppresses Local Immune Responses in Patients with Hepatocellular Carcinoma.	Iwamoto A.	第一外科
The American J of Surg192:296-300, 2006	Macroscopic tumor size as a simple prognostic indicator in patients with gastric cancer.	Saito H.	第一外科
鳥取医学雑誌34(2):49-52, 2006	胃全摘術後の理想的再建術式	池口正英	第一外科
World J of Surg30(9), 2006	Distinct Recurrence Pattern and Outcome of Adenocarcinoma of the Gastric Cardia in Comparison with Carcinoma of Other Regions of the	Saito H.	第一外科
実力医の履歴書 ライフ企画編集 中村康生:207, 2006	外科系・食道癌, 胃癌, 大腸癌, 肝・胆・膵癌, 肺癌	池口正英	第一外科
OPE NURSING21(10):41-46, 2006	腹腔鏡下胆嚢摘出術で考えてみよう	広岡保明	第一外科
Gastric Cancer9:271-276, 2006	Detection of cancer cells and gene expression of cytokines in the peritoneal cavity in Patients with gastric cancer.	Fukumoto Y.	第一外科
Digestive Disease and Sciences, 2006	Prognostic Significance of RCAS1 Expression in Relation to the infiltration of Dendritic Cells and Lymphocytes in Patients with	Tsujitani S.	第一外科
Breast Cancer Research8(6), 2006	Cross-priming of cyclin B1, BUC-1 and surviving-specific CD8+T cells by dendritic cells by dendritic cells loaded with killed allogeneic breast	Saito H.	第一外科
胆と膵27(11):871-875, 2006	膵Intraductal oncoytic papillary neoplasmの1例	岡和幸	第一外科
Cancer Immunol Immunother 55:131-139, 2006	Allogeneic gastric cancer cell-dendritic cell hybrids induce tumor antigen (carcinoembryonic antigen)specific CD8+ T cells.	Saito H.	第一外科
Yonago Acta Medica 49:9-17, 2006	Expression of phospho-Akt and PTEN proteins predicts the survival of patients with Pancreatic cancer.	Ozaki-ohgami Y.	第一外科
Yonago Acta Medica 49:19-27, 2006	Expression of phospho-Akt and PTEN proteins in human breast cancer in relation to Colorectal cancer.	Yamamoto O.	第一外科
Cancer Sci 97:1147-1154, 2006	Expression profile of LIT1/KCNQ10T1 and epigenetic status at the KvDMR1 in Colorectal cancer.	Ikeguchi M.	第一外科
卒後5年でマスターする消化器標準手術 メジカルビュー社332-341, 2006	鼠径ヘルニア手術-成人鼠径ヘルニアに対するKugel法	福田健治	第一外科
Liver International 26:157-165, 2006	Expression of oxidative stress-related molecules in circulating leukocytes and urine in patients with chronic viral hepatitis.	Hirooka Y.	第一外科
Plast Reconstr Surg. 2006 May	Free fibula bone wedge technique for mandible reconstruction using fibula	Nakayama B	形成外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Reconstr Microsurg. 2006 Aug	Subtotal nasal reconstruction for ethmoid sinus cancer defect using a fibula	Nakayama B	形成外科
眼臨, 100(1): 1-3, 2006.	80歳以上の高齢者に対する白内障手術一術後視力についての検討.	鈴木克彦 他	眼科
米子医誌, 57(2): 39-48, 2006.	マウスアレルギー性結膜炎に対するCCR3阻害薬の治療効果	小松直樹 他	眼科
米子医誌, 57(2): 49-62, 2006.	Th1型ヘルパーT細胞発現ケモカインレセプターCCR5・CXCR3欠損マウスにおけるアロ角膜移植片拒絶反応の解析.	諸星 計	眼科
Arch Virol. 151: 895-903, 2006.	High incidence of elevated antibody titers to Epstein-Barr virus in patients with uveitis.	Touge C 他	眼科
日眼, 110(12): 961-972, 2006.	感染性角膜炎全国サーベイランス-分離菌・患者背景・治療の現況	井上幸次 他	眼科
神経眼科, 23(4): 467-473, 2006.	ステロイド治療により急激な片眼性眼球陥凹をきたした特発性眼窩炎症の1例. 神経眼科	柿丸晶子 他	眼科
Pediatr Cardiol. 2006 Mar-Apr 27(2)272-275	Strategy for localized stenosis caused by Kawasaki disease: midterm results of percutaneous transluminal coronary balloon angioplasty in two	Tsuji Y	小児科
Kidney Int 2006 May 69(10)1792-8	Turbulence of glomerular hemodynamics involved in progressive glomerulosclerosis.	Okada Sinichi	小児科
Pathology International 2006.56(2)55-61	Immunohistochemical characterization of glomerular inflammatory cells and expression of adhesion molecules in anti-glomerular basement	Kado Tadashi	小児科
Brain Dev. 2006 May 28(4)272-4.	Forced mouth opening reaction: a primitive reflex released from cortical inhibition.	Nagaishi Junichi	小児科
Am J Med Genet A. 2006 Mar 15 140(6)633-5.	POR R457H is a global founder mutation causing Antley-Bixler syndrome with autosomal recessive trait.	Hanaki Keiichi	小児科
Neuropediatrics. 2006 Jun 27 37(3)115-20.	Dysphagia-gastroesophageal reflux complex: complications due to dysfunction of solitary tract nucleus-mediated vago-vagal reflex.	Kawashima Yuki	小児科
Eur J Pharmacol. 2006 Aug 21 544(1-3):132-7.	N-hexacosanol ameliorates streptozotocin-induced diabetic rat nephropathy.	Hanada Takuya	小児科
Eur J Pharmacol 2006 Jun 27 545(2-3)177-84	N-hexacosanol reverses diabetic induced muscarinic hypercontractility of ileum in the rat.	Hanada Takuya	小児科
Pharmacology. 2006 Aug 15 78(2)51-60	Treatment with Cyclohexenonic Long-Chain Fatty Alcohol Reverses Diabetes-Induced Tracheal Dysfunction in the Rat	Hanada Takuya	小児科
Brain Dev. 2006 Aug 15 29(3)189-92	Lower brainstem dysfunction in an infant with persistent primitive trigeminal artery.	Nagaishi Junichi	小児科
Neuropediatrics. 2006 Oct 37(5)269-77	Clinical characteristics of acute encephalopathy of obscure origin: a biphasic clinical course is a common feature.	Hayashi Atushi	小児科
Kidney Int. 2006 Nov 70(9)1591-8	Local delivery of angiotensin receptor blocker into the kidney ameliorates progression of experimental glomerulonephritis.	Okada Sinichi	小児科
Brain and Development November 2006 28(10)660-662	Familial limb pain in childhood: Unusual manifestation of migraine?	Toshiyuki Iitsuka	小児科
Pediatr Int 2006 December 48(6)638-640	Mizoribine oral pulse therapy for a patient with polyarticular juvenile idiopathic arthritis A	Hayashi Atushi	小児科
米子医学雑誌 2007.3 58(2)50-62	早産, 正期産児における臍帯血アディポサイトカインの研究: 子宮内発育と臍帯血アディポネクチン, レプチン値の検討	三浦真澄	小児科
日本小児血液学会雑誌 2007.03 21(2)	同種骨髄移植が奏効した6;9(p23;q34)を有する急性骨髄性白血病の女児例	上山潤一	小児科
小児看護 2007.3月 30(3)325-329	なんとなく元気がない	長田郁夫	小児科
米子医学雑誌 2007.3月 58(2)50-62	早産, 正期産児における臍帯血アディポサイトカインの研究: 子宮内発育と臍帯血アディポネクチン, レプチン値の検討	三浦真澄	小児科
米子医学雑誌 2006.03 57(2)77-88	小児における血中多量体adiponectinの研究 健康小児と肥満児における血中多量体adiponectin値の検討	船田裕昭	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌 2006.04 19(1)31-36	脳梗塞を発症し左片麻痺をきたした溶血性尿毒症候群の1例	岡田晋一	小児科
Oral Oncology 49 88-94, 2007	Runt-related transcription factor3 expression in human oral squamous cell carcinomas: implication for tumor progression and prognosis	Yoshiyuki tanji 他	歯科口腔外科
Yonago Acta medica 50 1 17-22, 2007	Polymorphous Low-Grade Adenocarcinoma Arising at the Retromolar Resion: A Rare Case of High Grade Malignancy	Kazuko Takubo 他	歯科口腔外科
ASKA Co.CTD Kochi, 2007	Lesions of the salivary glands	Tokio Osaki 他	歯科口腔外科
Am J Physiol Cell Physiol 290:812-821,2006	Role of AKT in cyclic strain-induced endothelial cell proliferation and survival	Kengo Nishimura 他	第二外科
Am J Physiol Heart Circ Physiol,291:939-947. (2006.03)	Enhanced cell transplantation: preventing apoptosis increases cell survival and ventricular function	Yoshinobu Nakamura 他	第二外科
Neuroreport, 17: 1043-1046, 2006.	Phonetic mismatch negativity predicts verbal memory deficits in schizophrenia.	Nakagome K 他	精神科神経科
臨床精神薬理, 9:1617-1628, 2006.	定型抗精神病薬から非定型抗精神病薬単剤使用への切替えに対する検討 Subject Well-Beingを中心とした主観的評価	中込和幸 他	精神科神経科
Schizophrenia Research, 88: 217-221, 2006.	Auditory P300 latency prolongation with age in schizophrenia: Gender and subcomponent effects.	Nakagome K 他	精神科神経科
Neuroscience 141:1301-1313, 2006.	Hippocampal synapsin I, growth-associated protein-43, and microtubule-associated protein-2 immunoreactivity in learned helplessness rats and antidepressant-treated rats.	Iwata M 他	精神科神経科
Congenit Anom 46(3):155-159, 2006.	Dopamine transporter density and behavioral response to methylphenidate in a hyperlocomotor rat model.	Iwata M 他	精神科神経科
Hippocampus. 17:271-80, 2007.	Infusion of neuropeptide Y into CA3 region of hippocampus produces antidepressant-like effect via Y1 receptor.	Ishida H 他	精神科神経科
精神科治療学 21増刊:24-27, 2006.	全身疾患に精神疾患が由来する病態 1)代謝・内分泌疾患 4)Addison病	狭間玄以 他	精神科神経科
Neurosci Res.56: Supplement 18, 2006.	Modulation by GABAergic inhibitory systems of neural mechanisms underlying emotional learning in the basolateral amygdala.	Kaneko K 他	精神科神経科
Mebio:24:14-21,2007.	うつ病の症状/診断(疫学, 診断基準など)	山田武史	精神科神経科
精神神経学雑誌108:449-458,2006.	ボンディング障害に対して内視鏡法が奏効した一例	溝部宏二 他	精神科神経科
Biol Psychiatry. 60:929-935, 2006.	Differential expression of disrupted-in-schizophrenia (DISC1) in bipolar disorder.	Maeda K 他	精神科神経科
Mol Psychiatry. 11:150-157, 2006.	Serine racemase binds to PICK1: potential relevance to schizophrenia.	Maeda K 他	精神科神経科
Schizophrenia Frontier8 : 58-62, 2007.	統合失調症の認知機能評価第9回「事象関連連電位」	池澤聡	精神科神経科
Eur J Clin Pharmacol 62:881-3 (2006)	Multiple gene polymorphisms and warfarin sensitivity.	Shikata E	薬剤部
Endocrinology 147:5034-40 (2006)	Glucocorticoid regulation of 24-hour oscillation in interferon receptor gene expression in mouse liver.	Takane H	薬剤部
J Hum Genet 18:822-6 (2006)	Pharmacogenetic determinants of variability in lipid-lowering response to pravastatin therapy.	Takane H	薬剤部
Expert Opin Drug Metab Toxicol 2:651-74 (2006)	Genetic polymorphisms of drug transporters: pharmacokinetic and pharmacodynamic consequences in pharmacotherapy.	Takane H	薬剤部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hum Genet 52: 117-22 (2007)	Human organic cation transporter (OCT1 and OCT2) gene polymorphisms and therapeutic effects of metformin.	Shikata E	薬剤部
細胞38巻3号 18-21	～特集嚙下機能のニューロサイエンス～ アセチルコリンは咽喉頭粘膜に於ける神経伝達物質か?	河本 勝之 他	耳鼻咽喉科
臨床と研究6月号	甲状腺腫瘍に対する内視鏡手術	北野 博也	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床99巻4号 266-267	非機能性副甲状腺腫	北野 博也 他	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科78巻5号 259	Sly syndrome	北野 博也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科78巻5号 260	Smith-Lemli-Opitz syndrome	北野 博也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科78巻5号 261	Sotos syndrome	北野 博也	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床99巻5号 373-376	前頭洞に原発した移行上皮癌例	藤原 和典 他	耳鼻咽喉科
JOHNS22巻5号 703-705	頸部内視鏡取り扱いのコツ	片岡 英幸 他	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科78巻7号 483-490	6甲状腺疾患～特集 知っておきたい耳鼻咽喉科疾患の病理～	北野 博也 他	耳鼻咽喉科
OTOL JPN16巻2号 98-102	側頭骨内良性病変に対する顔面神経前方可動術の経験	長谷川 賢作 他	耳鼻咽喉科
月刊臨床と研究(別冊)83巻6号 69-72	甲状腺腫瘍に対する内視鏡手術	北野 博也	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床99巻7号 585-589	術後2度喉頭動脈穿孔をきたした喉頭癌肉腫例	田口 大蔵 他	耳鼻咽喉科
日本口腔・咽喉科学18巻3号 357-361	ラットの舌乳頭におけるコリン作動性神経の免疫組織学的検討	河本 勝之 他	耳鼻咽喉科
感染症研究会24巻1号 44-46	内視鏡下副鼻腔手術の感染予防効果に関するFlomoxefとLovofoxacinの比較検討	森實 理恵 他	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診察のコツと落とし穴～喉頭・咽頭疾患～3巻 アレルギー・免疫13巻9号 34-37	下咽頭部食津嚥切除の遊離空間移植術 秋の花粉症治療～特に初期治療について～	竹内 英二 他 竹内 裕美 他	耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床99巻10号 869-873	上部消化管検査時の梨状窩穿孔による深頭部膿瘍例	福原 隆宏 他	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床52巻4号 S276-S279	重度の心肺合併症を持つ喉頭部分切除後の嚥下障害症例－術後嚥下機能の改善経過－	福島 慶 他	耳鼻咽喉科
Ann Neurol 59 (2): 372-375, 2006	Migraine and MTHFR C677T genotype in a population-based sample	Hisanori Kowa 他	脳神経内科
Biochem Biophys Res Commun 339(3):915-22, 2006	Novel cytoprotective mechanism of anti-parkinsonian drug deprenyl: P3K and Nrf2-derived induction of antioxidant proteins.	Nakaso K 他	脳神経内科
Amyotrophic Lateral Sclerosis 7: 38-45, 2006	Nationwide survey of juvenile muscular atrophy of distal upper extremity (Hirayama disease) in Japan	NaKashima K 他	脳神経内科
日本内科学会雑誌 95:75-80, 2006	日本内科学会生涯教育講演会 G. 片頭痛の診断と治療	中島健二	脳神経内科
臨床神経学 46:144-147, 2006	胃癌手術後に発症に抗Yo抗体をみとめた傍腫瘍性小脳変性症の1男性例	後藤あかね 他	脳神経内科
臨床神経学 46:148-153	睡眠時頭痛 (hypnic headache) の本邦3症例	福原 葉子 他	脳神経内科
Neurosci Lett. 400(1-2):44-7, 2006	Detection of compound heterozygous deletions in the parkin gene of fibroblasts in patients with autosomal recessive hereditary parkinsonism	Nakaso K 他	脳神経内科
Nature. 2006 Apr 27;440(7088):1208-12.	TMP21 is a presenilin complex component that modulates gamma-secretase but not epsilon-secretase activity.	Wakutani Y 他	脳神経内科
Exp Mol Pathol 80(2):124-31, 2006	Multiplex PCR-based DNA array for simultaneous detection of three human herpesviruses. EBV, CMV and KSHV.	Nakaso K 他	脳神経内科
Mov Disord 21(3):380-384, 2006	Prevalence and clinical characteristics of restless legs syndrome in Japanese patients with Parkinson's disease	Nomura T 他	脳神経内科
Intern Med.45(10):693-5, 2006	Intravascular large B-cell lymphoma following a relapsing stroke with temporary fever: a brain biopsy case.	Imamura K 他	脳神経内科
Mol Genet 16: 2170-2182, 2006	Epidemiology of primary focal dystonias in the western area of tottori prefecture in Japan: Comparison with prevalence evaluated in 1993.	Fukuda H 他	脳神経内科
J Neurosci Res. 84(6):1376-1384 2006	D-beta-hydroxybutyrate protects dopaminergic SH-SY5Y cells in a rotenone model of Parkinson's disease.	Imamura K 他	脳神経内科
J Clin Neurosci. 2006 Dec;13(10):1051-4.	Anterior and posterior inferior cerebellar artery infarction with sudden deafness and vertigo.	Murakami T 他	脳神経内科
臨床脳波 48: 603-608, 2006	片頭痛患者における体性感覚誘発高周波応答	佐久間研司 他	脳神経内科
J Neurol Sci. 2006 Dec 1;250(1-2):39-44	Clinical characteristics of Restless legs syndrome in patients with Parkinson's disease.	Nomura T 他	脳神経内科
J Neurol Sci. 2006 Dec 1;250(1-2):120-3.	CSF orexin levels of Parkinson's disease, dementia with Lewy bodies, progressive supranuclear nalsy and corticobasal degeneration.	Yasui K 他	脳神経内科
神経内科 64(5):561-562, 2006	片頭痛に対するアマンタジンの有用性について	竹島多賀夫 他	脳神経内科
J Med Virol. 2006 Dec;78(12):1635-42.	Epidemiology of Epstein-Barr virus, cytomegalovirus, and Kaposi's sarcoma-associated herpesvirus infections in peripheral blood leukocytes	Nakaso K 他	脳神経内科

合計181

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 豊島良太
管理担当者氏名	総務課長 日出 充一、学務・研究課長 湯原 博己、 医療サービス課長 阿部 秀一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療サービス課 薬剤部 各診療科	外来カルテは1患者1カルテ 入院カルテは1退院毎に中央管理エックス線写真は各診療科保管 H19.3.20以降、紙媒体によるものはスキャンにて電子保存。 電子化されているものは電子カルテ管理(1患者1カルテ)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学務・研究課	
	高度の医療の研修の実績	医療サービス課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	規則第9条の2及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	総務課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

(注)「診療に関する諸記録」には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	豊島良太 (病院長)
閲覧担当者氏名	日出充一 (総務課長)、阿部秀一 (医療サービス課長)
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	74.5 %	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,820 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,037 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,124 人	
	D: 初診の患者の数	19,449 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、C、Dの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式 13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 1名 兼任 8名・ 活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none">・ 医療事故防止等対策委員会の運営並びに記録等の作成及び保管に関する事。・ 医療事故に関する診療録、看護記録等への記載が正確かつ十分なされていることの確認を行うとともに必要な指導を行う事。・ 患者家族への説明など事故発生時の対応について確認を行うとともに、必要な指導を行う事。・ 医療事故の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行う事。・ 医療安全に係る連絡調整に関する事。・ その他医療安全対策の推進に関する事。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容・ 安全管理に関する基本的考え方・ 安全管理のための組織に関する基本的事項・ 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針・ 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針・ 本院における医療従事者と患者様との間の情報の共有に関する基本方針・ 患者様からの相談への対応に関する基本方針・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容・ 医療事故及び医事紛争を防止するため必要な啓発を行う事。・ 医療行為の安全管理体制に関する事。・ 医療事故の防止手法等安全管理の教育及び研修に関する事。・ 医療事故及び医事紛争の事実調査及び対策に関する事。・ その他医療事故及び医事紛争に関する事。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	前年度実績 34 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容・ 別紙1, 2のとおり	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容
(報告の分析・検討方法)
- ・ 問題点の把握状況 (各部署、安全管理部門の問題点の認識)
GRMが毎月の報告書を基に事故の種類、報告者職種、患者への影響度及び発生時間帯等を集計し、医療現場で発生する問題点を把握し、また、日々の報告書提出現場での検証を行い問題点を把握している。
- ・ 問題点の分析状況 (各部署、安全管理部門の問題点の分析方法)
GRMが、上記問題点の集計結果を調査・分析し改善策を作成する。
- ・ 分析・改善策(案)作成のための小委員会等の設置
リスクマネジメント専門委員会
- ・ 改善策の立案部門及び決定部門
上記専門委員会において、GRMが作成した改善策を検討し、医療事故防止等対策委員会に報告し更に検討して決定する。

平成18年度 院内研修企画

鳥取大学医学部附属病院

リスクマネジメント専門委員会

開催月日	研修会名・講演会名	内容	参加者数
4月3日(月)	「新採用者研修 リスクマネジメント」 講師：リスクマネジメント専門委員会委員	リスクマネジメントに 対する考え方及び本院 での取り組みについて 1. 孝田リスク委員長 2. 放射線部平田技師長 3. 谷本検査技師長 4. 椎木薬剤部副部長 5. GRM	新採用者 全職種全員 参加人数 75名 研修医：25名 Ns：37名 コメディカル：13名
4月3日(月) 4月11日(火) 4月13日(木) 4月14日(金)	病院情報管理システム操作研修 院内リスクマネジメントシステムを周知 する(含他病院から帰ってきた医師) 講師：医療情報部及びリスクマネジメント専門委員会	病院情報システム操作 研修と当院のリスクマ ネジメント取り組みに ついて(カールスポート 入力及び報告ルート等 について)	
4月3日(月)	病院情報管理システム操作研修 復帰医師 講師：医療情報部(近藤部長及びリスクマネジメント専門委員会(桑田情報副部長、GRM))	病院情報システム操作 研修と当院のリスクマ ネジメント取り組みに ついて(カールスポート 入力及び報告ルート等 について)	医師 32名
4月11日(火)	病院情報管理システム操作研修 新採用者医師 講師：医療情報部及びリスクマネジメント専門委員会(桑田情報副部長)	病院情報システム操作 研修と当院のリスクマ ネジメント取り組みに ついて(カールスポート 入力及び報告ルート等 について)	医師 29名
4月13日(木) 4月14日(金)	病院情報管理システム操作研修 新採用者看護師 講師：医療情報部及びリスクマネジメント専門委員会(桑田情報副部長、GRM)、渡邊看護師長	病院情報システム操作 研修と当院のリスクマ ネジメント取り組みに ついて(カールスポート 入力及び報告ルート等 について)	4/13: 26名 4/14: 13名 合計 39名
4月19日(水)	安全対策の基本 「リスクマネジメントと事故防止対策 の実際」 新採用者看護師 講師：藤井春美		看護師 36名
5月19日(金) 6月16日(金) 6月23日(金)	医療機器講習会 ・人工呼吸器サーボS 講師：高次集中治療部齋藤憲輝先生 福田電子株式会社	人工呼吸器(サーボS) の構造、仕組みを理解 し、安全に使用すること を目的に行う	研修医 24名 看護師 19名 医師 7名 理学療法 1名 臨床工学士 5 名 看護助手 1名 合計 57名

<p>5月30日(火) 6月1日(木) 各2回づつ</p>	<p>医療機器講習会 ・輸液ポンプ・シリンジポンプ 講師：テルモ株式会社</p>	<p>輸液ポンプ・シリンジ ポンプの構造、仕組み を理解し、安全に使用 することを目的に行う</p>	<p>研修医 4名 医師 5名 看護師 21名 理学療法士 4名 放射線技師 4名 ME 2名 合計 40名</p>
<p>8月2. 3日 8月8. 9日</p>	<p>効果的な酸素療法 講師：小林メディカル 小山裕司氏</p>	<p>より確かに、安全に酸素 療法が実施されるため の知識を得る目的で行 う</p>	<p>看護師67名</p>
<p>1回：7月3日. 2 7日 2回：9月4日. 14日 3回：12月18 日. 1月11日 4回：H19.2月2 6日. 3月12日</p>	<p>インスリン療法の基礎知識 (4回シリーズ) 講師：第一内科 馬場 裕生医師</p>	<p>糖尿病の治療の1つで ある「インスリン療法」 について正しい知識を 習得する目的で行う (実習をふくむ)</p>	<p>1回目 医師 21名 看護師 54名 リハビリ 6名 薬剤師 1名 研修医8名 合計90名 2回目 医師16名 研修医4名 看護師 52名 合計72名 3回目 医師 4名 研修医 8名 リハビリ 1名 看護師 29名 合計 42名 4回目 医師 8名 研修医 1名 看護師 17名 合計26名</p>
<p>7月2日(日)</p>	<p>山陰リスクマネジメント研究会 「NSTに関すること」 米子コンベンションセンター</p>		<p>当院参加者10名</p>
<p>9月2日(土)</p>	<p>医療マネジメント学会 地方会 「安全で良質な医療の実践のために」 米子コンベンションセンター 講演「これから期待される電子カルテとク リティカルパス」岐阜大学医学部附属病院 白鳥義宗先生 「クリティカルパスと記録」 済生会熊本病院 道端由美子先生</p>	<p>良質で安全な医療の実践 をテーマに鳥取県内および県 外病院からの参加も集い開 催。</p>	<p>鳥取県東部 64名 鳥取県中部 14名 鳥取県西部 192名 その他 28名 合計 298名</p>

1月26日(金)	患者の声を医療に生かす 職員全体研修 講師：上田治子氏	実際に患者さまの声を聞くこ とで、患者の苦しみを共感師、 患者と向き合うことの大切さ を感じとり今後の医療に生か す。	医師 41名 事務 12名 薬剤師 4名 看護師 47名 検査技師 21名 栄養士 4名 リハビリ 4名 材料部 2名 135名
2月17日(土)	転倒・転落・注射事故—あなたの対策で患 者さまを守れますか— 講師：杏林大学保健学部教授 川村治子先生	事例分析の中から得られた 具体的対策を学ぶ実践に生か す	医師 20名 薬剤師 3名 検査技師 2名 理学療法士 2名 看護師 67名 事務 2名 教員 1名 合計97名
11月6日～ 3ヶ月	DVD研修 「みんなで考えよう医療事故防止対策」 企画 東京大学医学部附属病院 制作 テルモ株式会社	全職員対象、医療事故防止対 策を実際の事例モデルをみて 考える	医師 167名 看護師 283名 薬剤師 20名 検査技師 29名 他部門 21名 合計520名
4/14 4/18 4/19 5/9	経皮的気管切開キット講習会 講師：スミスメディカル・ジャパン * 安達隆明さま 4/14 麻酔科 4/18 2外科 4/19 3内科 4/27 口腔外科 5/9 脳外科	経皮的気管切開術が確実な手 技で安全に実施できる	4/14 麻酔科；15名 4/18 2外科；8名 4/19 3内科；15名 4/27 口腔外科；15名 5/9：脳神経外科 9名 合計 62名
5/10.11 5/30 6/1	J-VAC講習会 講師：ジョンソン・エンド・ジョンソン 森本美由紀さま 5/10：17時～2A 17時30分～4B/4C 5/11：17時～3B 17時30分～4A 5/30：17時～5A/5B、 17時30分～6B 6/1：17時～8A/8B、 17時30分～OPE	術後創感染対策に閉鎖式持続 吸引ドレインが推奨されてい る。使用方法を理解し、安全 に実施する。	5/10 17名 5/11 16名 5/30 22名 6/1 28名 合計 83名
7/12	呼吸管理のアセスメント パルスオキシメーター ヘルスケアジャパン 雑賀まゆみ様	呼吸管理の基礎を理解し、パ ルスオキシメーターの適切な 使用方法を学ぶ	看護師 3F 25名 OPE 11名

			合計 36名
7/19 10/12 11/1 3/12	中途採用者システム操作研修 講師：医療情報部及びリスクマネジメント専門委員会（桑田情報副部長） GRM レポート入力方法	病院情報システム操作 研修と当院のリスクマネジメント取り組みについて（カール・レスポート 入力及び報告ルート等 について）	医師 7/19: 6名 10/12: 6名 11/1: 2名 3/12: 2名
11月6日、 7日 各2回づつ	医療機器講習会 ・輸液ポンプ・シリンジポンプ 講師：テルモ株式会社	輸液ポンプ・シリンジ ポンプの構造、仕組み を理解し、安全に使用 することを目的に行う	研修医 8名 医師 1名 ME 3名 看護師 14名 放射線技師 3名 合計 29名

H18 年度 感染管理年間教育

研修	対象	日程	講師	研修内容	参加人数
新卒看護師入職前研修	入職前新採用看護師	3月 30分2回	ICN	手洗い実習	26名
新採用者オリエンテーション	新採用者 (医師、看護師、 ほか医療職)	4月3日 60分	ICD ICN	スタンダードプリコーション、接触予防策、針刺し・血液曝露事故対策と事故時の対応	75名 (研修医25名、看護師37名、他13名)
職業安全	新採用看護師	4月19日 90分	ICN	スタンダードプリコーション、感染経路別予防策、針刺し・血液曝露事故対策と事故時の対応、廃棄物の取り扱い	39名
感染管理コース研修1回目	リンクナース	7月21日	微生物検査技師	微生物の知識 ～生物の分類、検査、抗菌薬、感染経路、耐性菌対策～	19名
感染制御全体研修1回目	全職員	7月31日	外部講師	病院感染対策 ～カテーテル由来血流感染症対策を中心に～	131名 (医師40名、看護師63名、コメディカル19名、事務職ほか9名)
感染管理コース研修2回目	リンクナース	9月15日	外部講師	院内感染の基本的な考え方	21名
医学科早期体験	医学科	10月4日	ICN 代行	エビデンスに基づいた感染防止対策	73名
感染管理コース研修3回目	リンクナース	10月20日	中材師長	消毒と滅菌について	18名
感染管理コース研修4回目	リンクナース	11月17日	外部講師	感染経路別予防策、MRSA・VRE、手指衛生、結核予防	15名
感染制御全体研修2回目	全職員	12月6日	外部講師	病院経営戦略からみたSSI対策	97名 (医師38名、看護師37名、検査

					技師 7 名、栄養管理部 4 名、事務職 3 名、薬剤部 2 名、他 6 名)
感染管理コース研修 5 回目	リンクナース	12 月 15 日	ICN	尿道留置カテーテル関連尿路感染と予防策	13 名
感染対策全体研修	全看護師	12 月 20 日	ICN	感染管理履修報告	15 名
感染管理コース研修 6 回目	リンクナース	3 月 2 日	ICN	中心静脈カテーテル関連血流感染と予防策	13 名
感染制御全体研修 3 回目	全職員	3 月 23 日	外部講師	正しい感染症マネジメント	57 名 (医師 20 名、看護師 21 名、検査技師 7 名、栄養管理部 2 名、他 7 名)